

4PPS（Four-Point Pusher Score）評価・記録シート

原著の4PPSをもとに、採点境界と記録を臨床で確認しやすい形に整理した補助シートです。公式日本語版・原文転載ではありません。

評価日		評価者		評価回	
患者ID		障害の強い側	[] 右 [] 左 [] 両側/その他 [] 不明	押す方向	[] 左 [] 右 [] 不明

採点早見 | 0・1・2・3点の境界

点	重症度	座位での見え方	座位：障害の少ない側へ受動荷重移動	立位での見え方	立位・歩行：障害の少ない側へ受動荷重移動	判定の鍵
3	重度	障害の強い側への明らかな傾き／押しが見える	参考所見として抵抗の有無も確認	重度所見として併存し得る	－	座位ですでに「見える」。障害の少ない側の上下肢・体幹の過活動、臥位での押しも確認
2	中等度	明らかな傾きは見えない	抵抗あり	障害の強い側への明らかな傾き／押しが見える	－	座位は「抵抗」、立位は「見える」
1	軽度	明らかな傾きなし	抵抗なし	明らかな傾きなし	抵抗あり	座位は陰性、立位・歩行で「抵抗」
0	なし	明らかな押し所見なし	抵抗なし	明らかな押し所見なし	抵抗なし	評価した姿勢で押し所見を認めず、障害の少ない側の過活動もない

評価入力 | 所見をチェック

No.	観察項目	入力	姿勢
1	座位：障害の強い側への明らかな傾き／押しが見える	[] あり [] なし [] 未評価	座位
2	座位：障害の少ない側への受動的な荷重移動に抵抗する	[] あり [] なし [] 未評価	座位
3	立位：障害の強い側への明らかな傾き／押しが見える	[] あり [] なし [] 未評価	立位
4	立位・歩行：障害の少ない側への受動的な荷重移動に抵抗する	[] あり [] なし [] 未評価	立位/歩行
5	障害の少ない側の上下肢・体幹に押しを助長する過活動がみられる	[] あり [] なし [] 未評価	各姿勢
6	臥位でも押し行動が目立つ	[] あり [] なし [] 未評価	臥位

判定候補： _____ 最終4PPS： _____点	候補は補助判断です。未評価、非典型的な組合せ、安全上実施できない姿勢がある場合は、原著基準と実際の所見を照合して最終判断してください。
----------------------------	---

実施条件	所見要約	次回再評価条件
------	------	---------

記録の型：4PPS [点]。[姿勢] で [傾き／押し／受動荷重移動への抵抗] を確認。条件：[足底接地・支持物・装具・介助など]。次回：[同一条件／変更点] で再評価。

重要：4PPSは0～3点の順序尺度です。本シートは記録・判断補助であり公式の自動採点ツールではありません。評価不能な姿勢や非典型所見では無理に点数化せず、所見と条件を記録してください。